

魚採りやいかだ遊び..... “川がき” 参上!

九頭竜川をテーマに、子供たちに勝山の豊かな自然を楽しんでもらう「九頭竜川がき隊」が、8月6日、7日の2日間、勝山市松原の九頭竜川で行われました。「川がき」とは、魚採りや石遊びなど川で思い思いに遊ぶ子供たちの通称。以前は、夏になるとこんな様子が市内でもあちらこちらで見かけられました。

1泊2日の日程で行われたこの行事は、子供たちが、川遊びを通じてふるさとの自然の美しさを認識し、年齢の枠を超えた人間形成ができればとの思いから勝山青年会議所(JC)が企画運営したもので、市内外から約30名の子どもたちが参加しました。

途中の夕立で大粒の雨に見舞われましたが、参加した子どもたちは、そんなことはお構いなし。昔は“川がき”だった大人たちといっしょになって、水と緑の中、魚や昆虫を探ったり自分たちで作ったいかだに乗って遊んだり、歓声を上げて楽しんでいました。



川遊びで大はしゃぎの子どもたち

HOT 話題



市民の健康を願い市に書を寄贈された大六さん(左)

『延年益壽』 年を重ねて益々お元気に

7月27日、平泉寺町にお住まいの書家大六泉嶽さん(65)から福祉健康センター「すこやか」へ『延年益壽』と書かれた屏風のご寄付をいただきました。

この書は、「年月を重ねて益々元気に」と、意味しているようで、大六さんは、センターを利用される市民のみなさんが、ますますお元気で暮らせるようにとの願いを込めて贈られたそうです。この寄付に対し、同日、山岸市長から感謝状が贈られました。

屏風は高さ約1.7メートル、幅約2.3メートルの大きさで、同センターの多目的ホールに掲げてあり、訪れた市民らの目を引いています。



手打ちの実演に見入る来場者

東京ビックサイトで勝山を宣伝
去る6月19日から3日間、東京ビックサイトにおいて「大江戸めん祭り」が開催されました。勝山からは、木下さんや木船さんが福井県産物組合の仲間と共に、全国各地から出展しているそば・うどんの職人たちが居並ぶ中で、越前おろしそばの実演販売を行いました。いつもの「越前おろしそば」の味を来場の人々に味わってもらいたいという思いから、現地で使用するそば粉や打ち水は、地元勝山より持参することにしました。そして、木下さんの手打ちの実演には、たくさんの人だかりができ、見物客の質問などを受けながら、鮮やかな腕前を披露していました。また、その場で打ち立てのおろしそばの味を堪能してもらい、大好評を博すことができました。当日は、恐竜博物館、左義長、白山平泉寺などのパンフレットを配布し、勝山の観光宣伝も行いました。会場には、勝山出身のかたも多数来場され、地元勝山をなつかしく思い話しかけられたり、励ましの言葉をいただくこともありました。

まちなか整備で生まれ変わった 大清水で祭りや多彩なイベントを実施



大清水の源泉で憩う住民

「大清水」は、主婦の洗濯や井戸端会議の場所であったり、果物を冷やしたり野菜を洗ったり、子どもが水遊びするなど、その周辺に暮らす勝山庶民の生活と密着した場でした。ところが、最近では、湧き水の量も減り、生活様式も変わるなどして、利用者も無くなり、ひっそりしていました。そんな「大清水」を復活したいという地元の思いと、まちなか整備事業が同調し、新たな「大清水」に生まれ変わりました。

下後区主催により、7月30・31日の両日にわたり開催された「大清水祭り」では、記念式典や設計担当の小野寺康さんや南雲勝志さんを招いての点灯式、笹舟や灯籠流しなどその他多彩なイベントで盛り上がり、多数の見物客で賑わい、往時の大清水祭りの面影を取り戻すことができました。



水路で笹舟を浮かべる女の子

勝山市の中心市街地には、九頭竜川や弁天桜、七里壁、大清水の湧き水などの自然遺産があります。また、通りに沿って数多く建つ寺社仏閣や昔の面影を今に残し風情のある川原町通りなどの歴史・文化遺産があります。そして勝山の基幹産業として市民の生活を支えてきた繊維産業の往時の姿を残す旧木下機業場の産業遺産もあります。

このような自然、文化・歴史、産業の遺産を活かしながら、エコミュージアム構想に沿って旧木下機業場跡地から勝山駅周辺までの範囲における「水・緑・文化・歴史空間の整備」を行うことで、にぎわいの創出や交流の拠点整備を図る「まちづくり総合支援事業」

このように自然、文化・歴史、産業の遺産を活かしながら、エコミュージアム構想に沿って旧木下機業場跡地から勝山駅周辺までの範囲における「水・緑・文化・歴史空間の整備」を行うことで、にぎわいの創出や交流の拠点整備を図る「まちづくり総合支援事業」

業(平成16年度に国の制度改正に伴い、「まちづくり交付金事業」に移行)では、地域住民が主役となり地域の創意工夫を活かしてまちづくりをデザインするという従来とは異なった手法を採用し、取り組んでいます。このため、議論が白熱して前進しなかったり、時には、以前にさかのぼって検討しなおすことも多々あり、結論を出すまでに時間がかかります。スタート時の平成15年度から、各地区や商店街への説明会や東大景観研究室メンバーとの調査研究、まちなか整備推進会議や住民ワークショップの多数開催などにより、積極的な取り組みが行われました。



灯籠流しを見つめる少女たち

自衛官募集

採用種目	応募資格者	受付期間	試験日
防衛大学校推薦		9/5~9/7	9月24・25日
大学一般	高卒(見込含)21歳未満	9/9~9/30	1次:11月12・13日 1次:11月5・6日
防衛医科大学校		8/1~9/8	1次:9月23日
航空学生			
看護学生	高卒(見込含)24歳未満	9/9~9/30	1次:10月16日
一般曹候補学生	18歳以上24歳未満		1次:9月17日
曹候補士		8/1~9/8	
2等陸士	18歳以上27歳未満		9月27日または9月29日
海士・空士	男子		9月25日
	女子		

問 総務課(内線222)または自衛隊大野募集事務所 65-6325